

## 出張授業要項

竹中大工道具館では職員が学校に出向き、当館の資料（大工道具や木材、映像）を使った出張授業を行っております。図画工作科や技術家庭科などの教科学習や総合的な学習の時間にぜひご活用ください。また校外学習の一環として、当館内でのプログラム開催も可能です。

※講義 B・国語科「千年の釘にいどむ」は校外学習(当館内)での授業を優先させていただきます。学校での実施は貸出資料をぜひご活用下さい。

対 象	小学生 4 年生以上（刃物を使用するため）
授業内容	<p>ご希望される授業内容、時間、人数により、最適なプログラムをご相談させていただきます（下記項目例をご参照ください）。</p> <p>◆講義 A【30～40 分】 内容：木の性質や種類、大工道具の種類と使い方、大工道具の歴史 ほか</p> <p>◆講義 B【45～50 分】 内容：国語科「千年の釘にいどむ」 和釘の特徴・つくり方、木の性質、鍛冶・白鷹幸伯氏について ※教材輸送のため、郵送料をご負担いただきます。 （宅急便の場合、往復 3,000 円程度） ※教材のみの貸出も承っております。（P5 参照）</p> <p>[下記内容には車両での輸送が必要となります]</p> <p>◆実技体験 A【40～60 分】（小学 4 年～6 年生向け） 内容：鉋<sup>かん</sup>、鋸<sup>のこぎり</sup>、墨壺<sup>すみつぼ</sup>（墨うち）の実演と体験 木の香り体験 ※1 クラスの人数が多い場合は、全員が体験できない場合もあります。</p> <p>◆工作体験【90 分～】（要材料費。一人当たり 500～1,000 円程度） 内容：ブックエンド(1,000 円)、えんぴつ立て(600 円)ほか ※上記の他にご希望があればご相談ください。</p>
講 師	当館学芸員、技能員（宮大工）、ボランティアスタッフ等
開催単位	クラス単位

開催日時	<p>2019年6月5日（水）～2020年3月13日（金）のうち、原則として水曜日～金曜日の2時間目以降のご希望の時間帯</p> <p>※ 館主催事業等の都合により、ご希望の日時を変更させていただくことや、申し込みをお受けできないことがあります。あらかじめご了承ください。</p> <p>※ 図工科の場合、前日または当日の授業開始約2時間前より、道具の搬入および準備を行います。</p>
講師料	<p>無料（ただし、工作を行う場合は別途材料費が必要です）</p> <p>※ 当館にて道具・材料等の運搬を行う場合は、下記の運搬費が必要になります。</p> <p>【当館から目的地までの往復距離】</p> <p>10km以内：1,500円、30km以内：1,800円、50km以内：2,100円 他</p> <p>※ 「千年の釘にいどむ」は教材輸送のための郵送料(宅急便の場合、往復 3,000円程度)が必要になります。</p>
申込期間	<p>2019年4月2日（火）～ 5月17日（金）</p> <p>※ 5月21日（火）以降に実施の可否をお知らせさせていただきます。</p>
申込先	<p>公益財団法人 竹中大工道具館 学芸部（担当：大村 都、森 ゆかり）</p> <p>〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1</p> <p>TEL: 078-242-0216 / FAX: 078-241-4713</p>
備考	<p>※年間実施数に限りがあるため、講義B・国語科「千年の釘にいどむ」は校外学習(当館内)での授業を優先させていただきます。学校での実施は貸出資料をご活用下さい。</p> <p>※希望校多数の場合、これまで未実施の学校を優先させていただきます。</p>



## 出張授業実施例①

実施学年： 小学校 4 年生

教 科： 図画工作科

ね ら い： 木工製作の前に、道具と木材、ものづくりへの興味を喚起する。

正しい道具の使い方を身につける。

授業時間： 9：40～14：25 （2～5 校時）

人 数： 40 名×3 クラス

講 師： 竹中大工道具館職員 2 名、当館ボランティア 3～4 名

※学校側サポート 教員 1～3 名

場 所： 各教室（講義）、図工室（実技）

内 容： 講義「木のひみつと大工道具」（40 分）

- ・木の性質、種類
- ・道具の種類と用途

実技（50 分）

- ・木の香り体験
- ・大工道具の使い方実演（鉋、日本の鋸、海外の鋸、墨壺ほか）
- ・実技体験（鉋、日本の鋸、海外の鋸、墨壺ほか）

※この授業内容の場合、道具および資料の車両運搬が必要となります。

スケジュール例：

	1 校時	休憩	2 校時	休憩	3 校時	休憩	4 校時	給食	5 校時	休憩	6 校時
	8:50～ 9:35	9:35 ～ 9:40	9:40～ 10:25	10:25 ～ 10:45	10:45～ 11:30	11:30 ～ 11:35	11:35～ 12:20	12:20 ～ 1:40	1:40～ 2:25	2:25 ～ 2:30	2:30～ 3:15
	準備										後片付け
1 組			講義 (～10:20)	休憩	10:30～ 実技						
2 組					講義 (～11:25)		11:30～ 実技				
3 組							講義		1:30～ 実技		

## 出張授業実施例②

実施学年： 小学校 5 年生

教 科： 国語科「千年の釘にいどむ」

ね ら い： 和釘を実際に手にとり、普段目にはしている洋釘と比較することで、和釘の特徴や素晴らしさについての理解を深める。また仕事に熱意と誇りを持って打ち込む白鷹幸伯氏の人物像に触れることで、日本の伝統や職人の技への興味を喚起する。

さらに白鷹氏の生き方を自分に引き寄せて考え、自分の生き方について考えるきっかけとする。

教 材： 和釘（白鷹幸伯氏製作）、洋釘、ヒノキの板、節をよけて曲がる和釘の標本、和釘製作工程映像ほか



学習指導展開例：

学習活動	指導と支援
講師自己紹介と授業の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに訪ねたことのある博物館について質問し、博物館のコレクションには多種多様なものがあることを知る。</li> <li>・博物館が資料を未来に伝えていく活動を行っていることを知る</li> <li>・竹中大工道具館は大工道具を専門とした博物館であり、白鷹氏が製作した道具が展示されていることを紹介する</li> </ul>
和釘と洋釘を実際に手にとり、見比べ、感じたことを班ごとに話し合い、発表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班に和釘と洋釘を配布</li> <li>・実際に手にとった和釘と洋釘の違いを班で話し合う</li> <li>・他の班の和釘、洋釘と自分の班のものを比べる</li> </ul>
和釘と洋釘の違いについて学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和釘と洋釘の違い（材料、製造方法、形、かたさ、大きさについて）再確認し、理解を深める</li> <li>・白鷹興光氏が和釘を鍛える映像（4分）を見て和釘の製造方法を学ぶ</li> <li>・年輪や節など木の性質、ヒノキと和釘の相性について学ぶ</li> </ul>
白鷹幸伯氏についての話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白鷹氏の生い立ちや薬師寺西塔再建のための和釘を製作することになった経緯、仕事の様子などについての話を聞き、白鷹氏という人物への理解を深める</li> </ul>
おわりに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白鷹氏からのメッセージから、ものをつくるだけでなく、それを未来に伝えていくことの大切さを学ぶ</li> </ul>